

日本組織培養学会
平成5年12月30日

会員通信
第80号

発行責任者
※宇田川康博（慶應大医学部）
増井 徹（癌研）
山田堅一郎（国立予研）
下田 隆夫（社保相模野病）
※〒160 東京都新宿区信濃町35
慶應大学医学部産婦人科
電話 03-3353-1211 内2393
Fax 03-3226-1667

§ 日本組織培養学会第67回大会のご案内

開催地 岡山市鹿田町2-5-1
会場 岡山大学医学部図書館講堂
期 日 1994年4月21日（木）、22日（金）

学会世話人 難波正義
岡山大学医学部

参加者と講演者へのお知らせ

1. 参加される方へ

- 1) 学会は午前9時に始まります。受付は会場入口にて行います。
- 2) 学会参加費は以下の通りです。

会 員	5,000円
非 会 員	6,000円
学 生	3,000円
抄録料金	3,000円（学生：2,000円）
- 3) 懇親会は瀬戸内海国立公園のクルージングを行います。

懇親会費	5,000円
------	--------

懇親会は船の定員の都合がありますので、必ず申込書で出欠をお知らせ下さい。
定員オーバーの場合は申し込み先着順とさせていただきます。

2. 講演される方へ

今回の学会は『ヒト細胞の老化、不死化、癌化』のテーマで国際シンポジウムを計画しています。このテーマにそった演題を出された方はシンポジウムに入っていただけ可能性があります。現在までのプログラムの試案は以下に記載いたしました。

講演を申し込まれる方は、講演申し込み用紙の所定の欄に必要事項をご記入の上、下記の住所宛お送り下さい。折り返し抄録原稿用紙をお送りいたします。なお、発表形式（口頭あるいはポスター）の最終的決定については学会世話人に一任下さい。

講演申込書、抄録、参加申込書の提出の締切

講演申込書 1994年1月15日
抄録の提出 1994年1月31日
参加申込書 1994年3月31日

講演申込書、抄録、参加申込書の送り先

〒700 岡山市鹿田町2-5-1

岡大医学部・分子細胞研・細胞生物部門

難波正義

Tel: 086-223-7151 #2615, #2610

Fax: 086-222-2846

International Symposium on Aging, immortalization, and Neoplastic Transformation of Human Cells.

Thursday, April 21, 1994

- 9:00- 9:20 Masayoshi Namba, Okayama University Medical School
Purposes of the symposium: problems and perspectives in aging and transformation studies in human cell system.
- 9:20- 9:50 Leonard Hayflick, University of California
Mortality and immortality in vitro.
- 9:50-10:30 Samuel Goldstein, University of Arkansas
Multiple genes are overexpressed in senescent human fibroblasts: an antiproliferative and pathogenic conspiracy?
- 10:30-10:50 Coffee break
- 10:50-11:20 Dai Ayusawa, Tokyo University
Identification of a senescence gene on human chromosome 7.
- 11:20-11:50 Renu Wadhwa, National Institute of Bioscience & Human Technology, Tsukuba
Acquisition of cellular mortal phenotype by transfection of mot-1 but not mot-2 cDNA.
- 11:50-12:30 Judith Campisi, University of California
Transcriptional control of cellular senescence.

- 12:30-13:30 Lunch
- 13:30-14:10 Johng Rhim, National Cancer Institute, Bethesda
Overview on neoplastic transformation of human epithelial cells.
- 14:10-14:50 Catherine Reznikoff, University of Wisconsin
Synergy between DNA tumor virus and chemical carcinogens in urogenital carcinogenesis.
- 14:50-15:30 Norbert Fusenig, German Cancer Research Center, Heidelberg, Germany
Multiple genetic alterations in the process of immortalization and malignant transformation of human keratinocytes.
- 15:30-15:55 Toshinori Ide, Hiroshima University
Senescent human fibroblasts cease proliferation by autocrine cytokines.
- 15:55-16:20 Eiji Hara, California University
Growth regulatory genes that control cellular senescence.
- 16:30-19:30 Boat cruise in the Seto Inland Sea National Park and reception

Friday, April 22, 1994

- 9:00- 9:50 Justin McCormick, Michigan State University
Neoplastic transformation of human fibroblasts in culture - a multistep process.
- 9:50-10:20 Takeki Tsutsui, Nihon Dental College
Multiple immortalization of human fibroblasts from a patient with Li-Fraumeni syndrome.
- 10:20-10:50 Masami Watanabe, Nagasaki University
The role of fibronectin gene on expression of malignant phenotypes of human cells.

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100
1976-11-100 1976-11-100

1976-11-100 1976-11-100

一般講演、展示（ポスター）講演の申込書

締切日 1994年1月15日

No.

演題名：		
演者名：		
所 属：		
所在地：〒		
TEL：	FAX：	
希望発表形式：	口頭発表	ポスター発表
(○印を記入下さい)		

注) 一般講演、ポスター講演の申し込みをされた方は、別添の抄録原稿用紙を用い、1994年1月31日までに、抄録原稿を大会事務局に提出して下さい。
 なお、抄録原稿の用紙を2枚以上必要な方は、事務局まで請求して下さい。

..... < 切り取り線 >

参加申込書

締切日 1994年3月31日

氏 名	懇親会（参加は○、不参加×）
1.	
2.	
3.	
4.	
5.	
所 属：	
所在地：〒	
TEL：	FAX：

1. 姓名	2. 性别	3. 年龄	4. 籍贯
5. 民族	6. 职业	7. 文化程度	8. 政治面貌
9. 婚姻状况	10. 子女情况	11. 健康状况	12. 其他
13. 工作单位	14. 住址	15. 联系电话	16. 电子邮箱

1991年10月10日

1991年10月10日

1991年10月10日

1. 姓名：王某某，性别：男，年龄：35岁，籍贯：山东省济南市。

2. 民族：汉族，职业：教师，文化程度：大学本科，政治面貌：中共党员。

3. 婚姻状况：已婚，子女情况：有一个儿子，健康状况：良好。

4. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

5. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

6. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

7. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

8. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

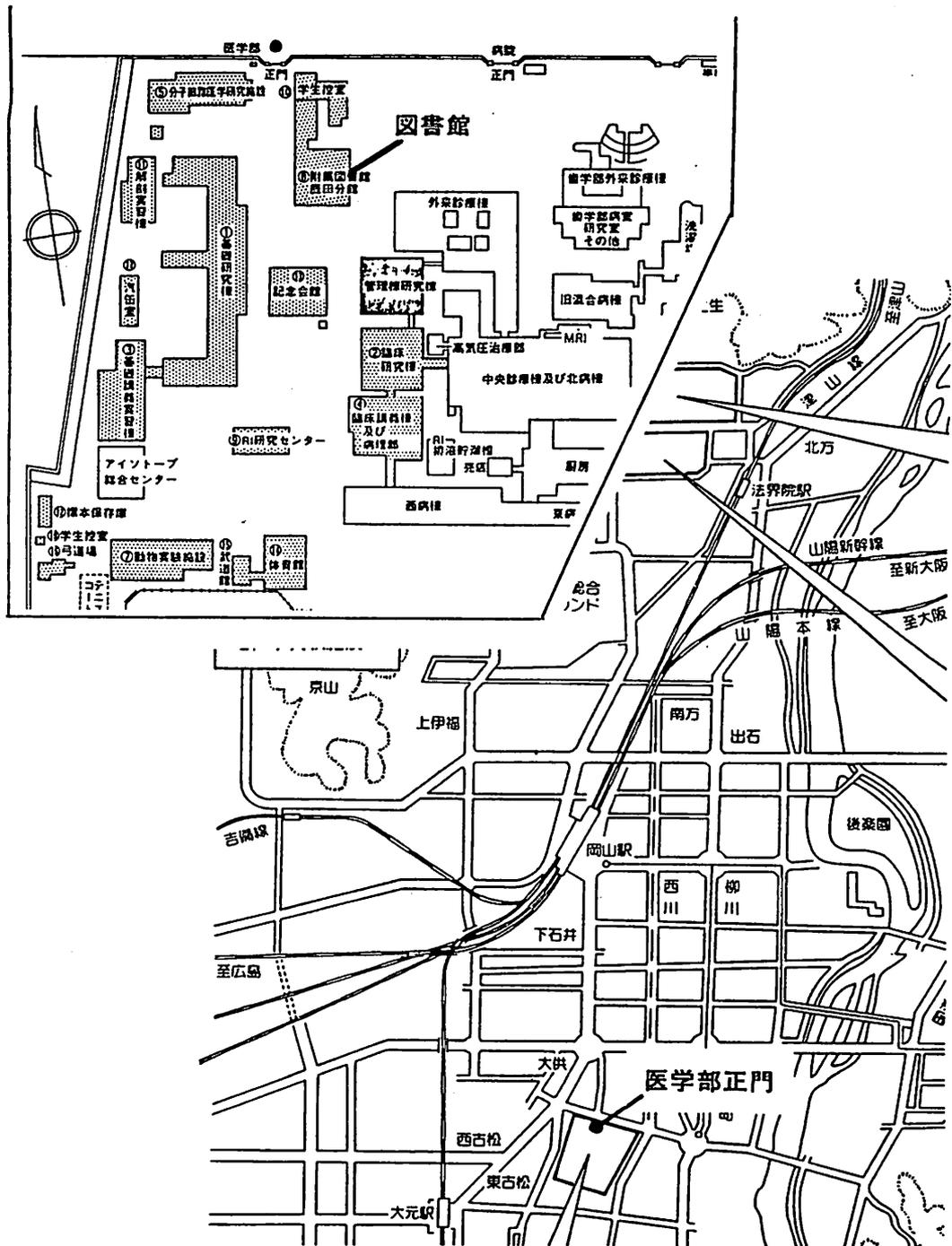
9. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

10. 工作单位：济南市第一中学，住址：济南市经二路123号，联系电话：13912345678，电子邮箱：wjm123@163.com。

1991年10月10日

1991年10月10日

1991年10月10日



(岡山駅からの交通案内)

バス利用：岡電バス 東山行又は労災病院行乗車（約10分）

大学病院前下車 徒歩3分

タクシー利用：約5分

§ 第67回日本組織培養学会ご参加の皆様へ

〔岡山市（岡大医学部図書館講堂）平成6年4月20日（水）～4月22日（金）〕

〈なお4月20日午後は日本組織培養学会「細胞工学シンポジウム」〉

宿泊予約申込についてのご案内

第67回日本組織培養学会の開催を心よりお慶び申し上げます。

首記学会は岡山大学医学部（医学部図書館講堂）に於いて開催されますが、(株)オリエント航空サービス岡山営業所では、ご参加の皆様方のために、宿泊お申し込みの受付をさせて頂く事となりました。つきましては、下記要領により、宿泊お申し込みを受付させて頂きますので、お早めのお申し込みをお願い申し上げます。

記

1) 宿泊期間 平成6年4月19日（火）～4月22日（金）

2) 宿泊料金 ※下記料金は1泊朝食付き、税金・サービス料込みです。

ホテル名	部屋タイプ	宿泊料金	申込記号
岡山ワシントンホテル	シングル	¥9,200	A
アークホテル岡山	シングル	¥8,500	BS
	ツイン	¥7,500	BT
ホテルニューオカヤマ	シングル	¥9,000	CS
	ツイン	¥8,500	CT

※ツインの宿泊料金は1室2名様使用のお1名様当たり料金です

3) お申し込み方法

1. 別紙お申込書をご記入の上、平成6年3月25日（金）必着にて下記宛てご郵送又はFAXにてお申し込み下さい。
(お電話でのお申し込みは、トラブルの原因となりますのでご遠慮ください)
藤田観光・オリコグループ
(株)オリエント航空サービス岡山営業所
〒700 岡山市柳町1-1-1 住友生命岡山ビルB-1
担当：谷口・滝川 TEL：086-232-9176
FAX：086-233-8015
2. 宿泊ホテルは、200名様分（4月19日泊は150名様分）確保いたしております。お申し込み順にご希望ホテル、ご希望部屋タイプを受け承りますので、ご希望に添えない場合もございますのでご了承下さい。
3. お申し込みの方には、FAXにて解答させていただきます。また、4月10日頃迄に予約確認書をご送付致します。

4) お申し込み締切日

平成6年3月25日(金)必着

5) 宿泊料金のお支払い方法

ご請求書を送付(宿泊予約確認書送付時)させていただきますので、4月15日迄に下記口座へお振り込みにてご入金下さい。

振り込み先: 中国銀行 岡山駅前支店 当座預金17682
 口座名 (株)オリエント航空サービス

6) 取扱手数料

お一人様につき515円を頂きますのでご了承下さい。

7) 変更・取消料について

一旦お申し込みを頂いた後、お客様のご都合でお取消又は変更される場合は、下記の変更・取消料を申し受けさせていただきます。

14日前～7日前	6日前～前々日	前 日	当 日 以 降
料金の20%	料金の30%	料金の50%	全 額

..... キ リ ト リ 線

第67回日本組織培養学会 宿泊申込書

下記の通り申し込みます

氏 名					印	お申込日	年	月	日
連絡先/勤務先	(住所欄は勤務先住所を記入)			自宅	(住所欄はご自宅住所を記入) (ご希望に○印)				
勤務先					住所				
勤務先TEL					勤務先FAX				
又は自宅TEL					又は自宅FAX				
宿 泊 者 氏 名	宿 泊 日				備 考				
	4/19	4/20	4/21	4/22					
《記入例》岡山 太郎	×	A	BS	BS					

※宿泊の同室(ツイン)をご希望される方は、備考欄に同室の方の氏名をご記入下さい
 ※上記以外の宿泊希望日がありましたら、備考欄にご記入下さい

§ 日本組織培養学会「細胞工学シンポジウム」のご案内

前回の会員通信でお知らせしましたように、第67回日本組織培養学会の前日に細胞工学シンポジウム「遺伝子導入研究の新しい展開」を開催します。今や遺伝子導入法はあらゆる研究室で日常の実験手法となっていますが、一方より優れた手法の開発と新しい分野への展開が続けられています。そこで、このような新しい展開をなされている方々をお呼びして、シンポジウムを企画しました。ふるってご参加ください。

記

日 時 平成6年4月20日（水）、午後1時より5時まで（予定）

場 所 岡山大学医学部図書館講堂

1. マイクロインジェクションによる遺伝子導入と発現

東京大学医科学研究所癌細胞学部 千田 和広

2. ヒトイムノグロビン遺伝子を導入したトランスジェニックマウスの作成

日本たばこ株式会社生命科学研究所 西 義介

3. Cre-Lox 部位特異的組換え系を利用した突然変異検出用トランスジェニックマウスの開発

国立衛生試験所変異遺伝部 能美 建彦

コーヒーブレイク

4. 遺伝子治療－皮膚細胞への遺伝子導入

新技術事業団吉里再生機構プロジェクト 吉田 進

5. 肝組織への遺伝子導入による遺伝子治療の試み

大阪大学細胞生体工学センター 中西 真人

総合討論

細胞工学委員会

小山 秀 機

§ 第8回日本組織培養学会秋季シンポジウムを終えて

世話人 高山 奨

今回の秋季シンポジウムは「染色体に関する最近の話題」というタイトルのもとに11月13日の午後予定通り行われました。

第一部「染色体の微細構造」においては、国立衛生試験所の相父尼俊雄先生の座長を得て、主として走査電子顕微鏡観察による3題の発表があり、動物染色体を構成する各構造ハイアラーキーについて、様々な標本によるそれぞれに特徴的な様相が示され、問題点が論じられました。第二部「染色体の動態」では、愛知がんセンター研究所の内海和彦先生を座長として、まず膜内タンパク質と染色体周期変化との関わり、次に染色体ペインティング技法を利用した染色体異常の検出およびその他様々な面にわたる利用の可能性の提示、最後に、コンピューター処理を駆使した生細胞染色体のダイナミックスのビデオによる実に印象深いデモンストレーションの3題が発表されました。

今回は染色体関連の興味深い発表と活発な討論がなされましたが、不幸にも最悪の天候に遭遇するはめになり、また会場の足場の悪さもあってか、出席者が必ずしも多くなかったことが残念でした。ともあれ、講演して下さった先生方をはじめ、今回のシンポジウムに参加して下さったすべての方々から御礼を申し上げます。

§ 選挙の年度です。積極的な御参画を！

会長 蔵本 博行

秋冷の爽やかな候となりました。会員の皆様方には、益々研究に御精進の事と存じます。

本年度の私共日本組織培養学会の諸行事は、順調に進行しております事は御存じのとおりであります。春には、第66回大会が三井洋司世話人（生命研）のお世話で盛大に開催されました。多数の参加者を得て、先端的な企画の演題が活発に討議された事は記憶に新しいところです。最近の11月には、高山 奨世話人（関西学院大）の企画で、第8回秋期シンポジウムが、「染色体研究に関する最近の話題－形態と機能」と題して開催されました。長年に渡ってなされてきた染色体研究が、これほどまで斬新な展開を見ている事に瞠目させられたのは小生のみでは決してなかったと思われます。演者の方々に心から敬意を表します。

さて、本年度の学会のもう一つの重要行事として、役員（幹事）選挙が待たれています。新しい学会規約に則り、来年度には半数の幹事が交代します。大会やシンポジウムの活性化、年4回発行となった機関誌「組織培養研究」誌のレベル向上、また各種委員会の活動に、積極的に活力に富んだ有意の会員の参画が大いに期待されます。

選挙の際には、積極的に投票されるようお願い申し上げます。

§ 日本組織培養学会役員選挙のお知らせ

日本組織培養学会幹事の任期満了にともない役員選挙を施行致します。平成4年度よりの幹事8名のうち、半数は平成6年3月にて任期満了となる為、今回8名選出の投票を行います。会則に従い、得票数の上位1・2位の4名を平成6年度より2年間、3・4位の4名を平成7年度より2年間の幹事とします。前幹事、現幹事は被選挙権を有しません。投票用紙、会員名簿は後日会員の皆様に郵送致します。

日本組織培養学会選挙管理委員
加治 和彦、秦 宏樹

§ 日本組織培養学会平成5年度第2回幹事会議事録

日 時：平成5年11月13日（土）午前10時～13時

場 所：関西学院大学理学部会議室（兵庫県西宮市）

出席者：蔵本博行（会長）、安野洋一、沖垣 達、浜口和之、蓮村 哲、増井 徹、
西 義介、山田堅一郎、秦 宏樹（幹事）、高山 奨（秋季シンポジウム会長）

Ⅰ 報告事項

1. 会長報告（蔵本会長）

2. 庶務報告（庶務幹事）

① 入会・退会者（平成5年6月～平成5年9月）

入会希望者：正会員10名

退会希望者：正会員8名、賛助会員1団体

② 日本学術会議関連研究連絡委員会の指定会員の登録申請について

関連研究連絡委員会：遺伝学

会員数：1名

③ 会員業務受託費改定について

（財）日本学会事務センターより会員業務受託費を現行の765円／名を平成6年度より815円／名に（3.4%）値上げされるとの通達があった。

3. 会計報告（会計幹事）

① 平成5年4月～10月間の収支報告

② 会員通信79号が、『細胞バンク報告』を掲載し、増ページとなり出費が増え予算を超過する可能性がある。

③ 今年度は会員名簿を作成する年度である。

4. 奨励賞選考報告（奨励賞選考幹事）

平成6年度日本組織培養学会奨励賞の応募は現時点で0件である。

5. 会員通信報告（会員通信幹事）

平成5年度は、第79号を発行した。今後第80号を平成5年12月（次期大会案内）、第81号を平成6年3月（役員選挙報告）として発行する予定。

6. 各委員会報告

1) 編集委員会報告

平成5年度も年4回発行する予定。

2) 細胞バンク委員会報告

平成5年度は、現在までに3回委員会を開催した。

以下の3点につき継続審議中である。

- a. 我が国における培養細胞の保存供給・整備に関する要望書。
- b. 細胞株の所有権および細胞株使用上の倫理的問題。
- c. 細胞株データベース化。

3) 細胞工学委員会報告

平成5年度細胞工学委員会シンポジウムを平成6年4月20日（水）に開催予定。

4) 研究教育システム委員会報告

- ① 秋季シンポジウムは、年一回の大会の相補的なものであり、組織培養学会全体でそれを企画、実行するべきであるため、今後研究教育システム委員会は各方面からの意見を集め、幹事会に提案していく。
- ② 『組織培養技術』第3版の執筆、出版を検討中。
- ③ 組織培養技術講習会の開催を検討中。

II. 協議事項

1. 新入会希望者の承認

2. 選挙管理委員の委託

平成5年度末での幹事半数の任期満了に際し、役員選挙管理委員2名（加治和彦幹事、秦 宏樹幹事）が、会則により蔵本会長より委託され、承認された。

3. 大会会長の推薦

平成7年度日本組織培養学会大会会長：渡辺正己先生（長崎大・薬学部）

平成6年度秋季シンポジウム会長：鈴木文雄先生（金沢大・薬学部）

平成7年度秋季シンポジウム会長：蔵本博行先生（北里大・医学部）

西 義介先生（日本たばこ・生命科学研）

以上の先生が推薦された。

4. 名誉会員の推薦

会則第3条第4条の2により、日本組織培養学会名誉会員の推薦が、蔵本会長より提案され、その推薦内規（別掲）が承認された。

5. 会費未納者の処遇

- 1) 前回幹事会の承認を受け、3会計年度以上の会費滞納者（58名）は、平成6年度より『会員通信』、『組織培養研究』の送付を差し控えることが決定された。
- 2) 次回役員選挙の選挙権は、平成5年度中であることより保留された。

6. I A C C問題について

今回は、日本組織培養学会 I A C C 委員である。奥村秀夫会員、加治和彦会員の出席が得られなかった為、次回へ持ち越された。

日本組織培養学会名誉会員推奨内規

1. 本学会の発展ならびに組織培養の進歩に著しく貢献した正会員であること。
2. 本学会の会長、幹事または大会世話人の経験者、あるいはこれに準ずる貢献をしたものであること。
3. 原則として、満65歳以上であること。
4. 名誉会員の特典として、
 - 1) 年会費は免除される。
 - 2) 組織培養研究など、定期刊行物の送付を受ける。
 - 3) 学会の主催する大会、シンポジウムなど学術行事の参加費は免除される。
本規約は平成6年4月1日から施行する。

§ 日本組織培養学会研究教育システム委員会議事録

下記の通り審議し、11月13日の幹事会で承認されましたので、ここに報告致します。

日 時：1993年10月15日（金）

場 所：東京新宿 (株)ネスコバイオ 4階会議室

参加者：沖垣 達（委員長）、梅田 誠、大野忠夫、丹羽 章、西 義介、増井 徹

1. 委員会予算の消化とその報告

100,000円－（今回委員会の交通費＋会場費等）＝73,000円

残金27,000円は次回に繰り越し

2. 秋季シンポジウムについて

- a) 今年度は沖垣が提案し、関西学院大学高山 奨教授が世話人
- b) 今後の秋季シンポジウムをどのような方針でどのように運営するか
年2回の研究大会が1回になったので、もう1回の大会の相補的な会として始まった。
毎年の運営に当委員会が責任を持つのはoverdutyではないか。
本来は会長からの諮問で主催者を決めていたので、その継続でよいのではないか。
- c) 細胞工学委員会のシンポジウムとのかかわり
学会の規模からみても、年2回別個のシンポジウムの開催は負担が大きすぎる。
細胞工学委員会の方でシンポジウムの企画実行をやってもらうのはどうか。
- d) 年一度充実したシンポジウムを開く方がよい
研究教育システム委員会としては、11月の幹事会に提案する。

3. 出版物について

- a) 「組織培養技術」の第2版を出してから5年が経過し、第3版を出す時期が来ている。
今回は基本編と応用編に分け、実際に使い易い大きさにまとめる。
これをみただけで、－最小限のもので出来る－ことを目的に一応の実験のできるもの。
第2版までは細かなことははずしていたが、2編に分ければもっと基本的なことも入れられる。実際にもう少しバックグラウンドを知っている方が無駄が少ない、と考えられる場合が多いのではないか。
基本的なことを徹底的に網羅した成書がない。
応用編の充実、特に分子生物学研究者への細胞の側からの問題点の提示
- d) 具体的には、来春に企画をまとめ、来年中または再来年の春に出版予定、編集委員の充実を考え（カバーできる範囲を広くする必要あり）、もう2名編集委員を増やしてはどうか。
生命倫理の問題・承諾書の基本書式等、プライマリー培養の要請が多いのでそのような項目も加える。
- c) 丹羽が朝倉書店と交渉を開始し、具体的な予定を決める。
担当：基礎編 丹羽、梅田、沖垣、伊井
応用編 大野、西、増井
項目リストの作成に当たっては、多いところから削る方がよい。
執筆者の依頼については、前版を頼んだ人に自動的に頼むことはしない、できるだけ現場で仕事をしている若い世代に依頼する。
これらの資料は、年内に丹羽に送る。
第1回の編集会議は、来春朝倉書店で、項目・執筆者リストの作成から始める。
- d) 以上について幹事会の了解を得る。

4. 初心者向け講習会の企画と実行

- a) 組織細胞化学会の講習会（既に18回実施）が参考になる。
- b) イワキガラス（伊井一夫氏担当）で会場を提供できるとのこと。
どのような会をどのように企画するかきめる（丹羽交渉）。
例年恒例行事として続けることが必要。
組織培養学会のターゲットは研究者向けの基礎的な培養の考え方が身につくような講習会－技術員クラスの講習会と考えている人が多いが、基礎編をこのような講習会のテキストとする、あるいはそうなるように編集する。
- c) 以上をふまえてなお委員会で検討することについて、幹事会の了解を得る。

§ 国内会議の御案内

第1回肝細胞研究会

過去9年間にわたり続けてきました「初代培養肝細胞研究会」を発展的に肝細胞研究会と改称し、下記のように「第1回肝細胞研究会」を開催致したくご案内申し上げます。

これまでは初代培養肝細胞を対象とした研究のみに限定していましたが、今回からは肝臓の構築と機能に関する非実質細胞を対象とした研究まで範囲を広げ活発な討論の展開を期待しております。

多数の皆様のお参加をお待ち申し上げます。

日時	1994年6月3日(金)～4日(土)
場所	順天堂大学有山記念講堂(お茶の水駅より徒歩5分) 東京都文京区本郷3-1-3
参加費(当日受付)	
大学関係者・官公庁・研究所	: 4,000円
企業関係者	: 8,000円
学生	: 2,000円
懇親会会費	: 6,000円

【演題申込について】

発表予定の方は、事務局までハガキまたはFAXにて演題申込用紙をご請求下さい。演題数にもよりますが、今回は全て口演で行う予定です。同一研究者による複数の演題提出には優先順位をお付けください。

【締切日】 1994年3月18日(金)(必着)

【送付先】 〒227 横浜市緑区長津田町4259

東京工業大学・生命理工学部・生体分子工学科

赤池研究室 肝細胞研究会事務局 宛

TEL 045-922-1111 (内 2555) FAX 045-921-7854

尚、各種お問い合わせは、極力、ハガキまたはFAXでお願い致します。

世話人代表 赤池敏宏

東京工業大学 生命理工学部・生体分子工学科

§ 国際会議の御案内

2nd Congress of the Asian-Pacific Organization for Cell Biology
(第2回アジア・太平洋細胞生物学会議)

主催: The Australia and New Zealand Society for Cell Biology

主題: Molecular Processes in Cell Biology

会期: 1994年10月16日(日)~20日(木)

会場: Australia, Sydney

Second Circular 日付: 本年年末(予定)

演題申込締切: 明年3月末(予定)

上記の通り分子・細胞生物学、組織培養関連の国際会議が1994年秋Sydneyで開かれますので、御案内致します。Circularの配布、登録、団体旅行等については下記にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先:

主催団体指定旅行会社

〒150 東京都渋谷区桜丘町2-4-4

東武富士ビル4F

JALコンベンションデスク(担当 新井氏)

Tel. 03-3461-0781 Fax. 03-3496-0456

〒701-02 岡山市山田2-1-17

重井医学研究所内

アジア・太平洋細胞生物学会

事務局長 沖垣 達

Tel. 086-282-3113

Fax. 086-282-3115

編集後記

○師走を迎え会員の皆様には多忙な毎日をお送りのことと存じます。日本組織培養学会の今年度の予定も先日の秋季シンポジウムをもって無事に終わりつつあります。残すは幹事の選挙のみであります。会員通信も今年度はあと一回、選挙に関するものを発行するのみとなり、担当幹事としては少しほっとしているところです。

○本号に載せましたように次回の学会大会は海外から多くの研究者を招いたシンポジウムが計画されており、また、船上での懇親会も計画されていて大変に楽しみな大会となりそうです。

○組織培養研究の第三版の出版が計画されております。基礎技術としての組織培養の重要性が増し、その多様かつダイナミックな適用が望まれるときに、基本に立ち返って考えることの重要性をしみじみと感じます。

(T. M)

平成5年6月から平成5年9月末まで
(9月30日現在)

§ 新入会員

氏名	現住所	所属機関・所在地
向井 睦子	〒657 神戸市灘区楠丘町 4-2-8-202 ☎078-851-8763	*大阪府立成人病センター腫瘍生化学 〒537 大阪市東成区中道 1-3-3 ☎06-972-1181
佐藤 直秀	〒264 千葉市若葉区みつわ台 5-26-5-201 ☎043-284-6266	千葉大学医学部泌尿器科 *〒260 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 ☎043-222-7171
古賀 正史	〒658 神戸市東灘区住吉山手 5-13-14 ☎078-822-4986	大阪大学医学部第三内科 *〒565 吹田市山田丘 2-2 ☎06-879-3833
神野 浩光	〒142 品川区平塚 2-4-4-704 ☎03-3782-1726	慶應義塾大学医学部一般外科 *〒160 新宿区信濃町 35 ☎03-3353-1211
ワダワ レヌー	〒305 つくば市梅園 2丁目 プラムガーデン205 ☎0298-54-6070	生命工学工業技術研究所 *〒305 つくば市東 1-1-3 ☎0298-54-6072
大田原 佳久	〒431-31浜松市半田町 3600 医大半田山宿舎1-402 ☎053-433-0087	浜松医科大学泌尿器科学教室 *〒431-31浜松市半田町 3600 ☎053-435-2306
小林 俊介	〒981-31仙台市泉区加茂 1-37-16 ☎022-378-3334	東北大学加齢医学研究所呼吸器再建分野 *〒980 仙台市青葉区星陵町 4-1 ☎022-274-1111
森山 剛	〒468 名古屋市天白区菅田 1-1904 ☎052-802-4791	(株)メニコン材料研究部 *〒451 名古屋市西区枇杷島 3-12-7 ☎052-523-1111
吉里 勝利	〒739-01東広島市八本松南 7-22-13 ☎	広島大学理学部生物科学科 *〒724 東広島市鏡山 1-3-1 ☎0824-24-7440
西田 正人	〒305 つくば市二の宮 3-26-10 ☎0298-51-8507	筑波大学臨床医学系産婦人科 *〒305 つくば市天王台 1-1-1 ☎0298-53-3210
小里 麗子	〒189 東村山市秋津町 4-2-15 ☎0423-93-7025	(株)エスアールエル染色体部二課 *〒192 八王子市小宮町 153 ☎0426-46-7611

氏 名	現 住 所	所属機関・所在地
松 井 三 和	〒300-32つくば市花畑 1-5-29 岸本ハイツ 205 ☎0298-64-2738	工業技術院生命研細胞機能研究室 *〒305 つくば市東 1-1 ☎0298-54-6072
杉 山 則 文	〒262 千葉市花見川区検見川町 2-574 小高様方 ☎043-271-2280	第一製薬(株)分子生物研究室 *〒134 江戸川区北葛西 1-16-13 ☎03-3680-0151
佐 野 恵 海 子	〒241 横浜市旭区中希望ヶ丘 212-21 ☎045-364-5056	東レ(株)基礎研究所 *〒248 鎌倉市手広 1111 ☎0467-32-2111

§ 住所変更

氏名	現住所	所属機関・所在地
金子一郎 *〒177	練馬区上石神井 1-22-8	東京成徳大学人文学部 *〒276 八千代市保品字中台谷 2014 ☎0474-88-7111
佐藤研二 〒		(助)岩手生物工学研究センター *〒024 北上市成田22地割 174-4 ☎0197-68-2911
保地真一 〒080	帯広市西3条南27丁目 1-18 カンフライトハイヴ No.Ⅱ-106	帯広畜産大学総合馬学講座 *〒080 帯広市稲田町 ☎
徳田一弥 〒154	世田谷区野沢 2-32-6 ☎	サンド薬品(株)筑波総合研究所 *〒305 つくば市大久保 8 ☎0298-65-2278
高井新一郎 〒663	西宮市甲子園砂田町 2-1 ☎0798-47-0525	大阪大学医学部第二外科学教室 *〒565 吹田市山田丘 2-2 ☎06-879-5111
植田孝之 〒		新潟大学遺伝子実験施設 *〒950 新潟市旭町通番町 757 ☎
伊藤敏文 〒543	大阪市天王寺区上本町 7-2-10 ☎06-772-2696	大阪大学医学部第一内科 *〒565 吹田市山田丘 2-2 ☎06-879-5111
岡田奈津子 〒663	西宮市天道町 17-13-104 ☎0798-65-1925	大阪大学医学部附属病院皮膚科 *〒565 吹田市山田丘 2-15 ☎06-879-5111
佐藤文三 〒661	尼崎市富松町 1-26-7 ☎06-423-1630	大阪大学医学部第三内科 〒565 吹田市山田丘 2-2 ☎06-879-5111
府川幸資		(株)日本化学物質安全情報センター *〒105 港区西新橋 1-19-4 難波ビル2F ☎03-3593-1190
堀内龍也 〒377	群馬県勢多郡北橋村小室 1060-1 ☎0279-52-3808	群馬大学医学部附属病院薬剤部 *〒371 前橋市昭和町 3-39 ☎0272-31-7221
田村昭蔵 〒160	新宿区内藤町 1-121-401 新宿内藤町ハウス ☎03-3351-5894	産婦人科田村クリニック *〒160 新宿区南元町 19 信濃町外苑ビル 401 ☎03-3225-0834

§ 退 会

氏 名	機 関 名
小 林 茂 保	東レ(株)基礎研究所 ウィルス研究室
塙 三 恵	
田 宮 僊 三	エスエス機器(株)
太 田 博 明	慶應義塾大学医学部産婦人科学教室
松 本 克 夫	ポーラ化成工業(株)中央研究所皮膚科学研究部
安 西 弦	北里大学医学部附属病院産婦人科
中 村 淳 郎	テルモ(株)富士宮工場
三 ツ 木 健 二	松山赤十字病院内科
	旭化成工業(株)BMM開発推進部

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHILOSOPHY DEPARTMENT

PHILOSOPHY 101

PHILOSOPHY 102

PHILOSOPHY 103

PHILOSOPHY 104

PHILOSOPHY 105

PHILOSOPHY 106

PHILOSOPHY 107

PHILOSOPHY 108

PHILOSOPHY 109

PHILOSOPHY 110

PHILOSOPHY 111

PHILOSOPHY 112

PHILOSOPHY 113

PHILOSOPHY 114

PHILOSOPHY 115

PHILOSOPHY 116

PHILOSOPHY 117

PHILOSOPHY 118